

「ZEH 支援事業」三次公募が開始

公募期間:平成30年8月23日(木) ~ 平成30年10月5日(金) 17:00 必着

※交付決定は、申請書の到着日から約1ヶ月後までを目途に随時行います。全件の交付決定は10月24日(水)に完了予定です。

予算規模:約14億円(約1,900件)

※今回の募集は、「新規取り組み ZEHビルダー/プランナー」が関与する申請と「その他の ZEHビルダー/プランナー」が関与する申請の区分はありません。

各補助事業の主なポイント



ZEH 支援事業

対象となる住宅

- ・「ZEH」
- ・Nearly ZEH (寒冷地、低日射地域、多雪地域に限る)
- ・ZEH Oriented (都市部狭小地の二階建以上)

交付要件の主なポイント

- ① ZEHロードマップの「ZEHの定義」を満たしていること
- ② SIIに登録されているZEHビルダー/プランナーによって設計・建築・改修または販売されること

補助額

70万円/戸

蓄電システム(定置型)を設置する場合:
3万円/kWh加算(上限:30万円又は補助対象経費の1/3のいずれか低い額)



太陽光発電、省エネ換気、高効率照明(LED等)、電力量の把握、蓄電システム、高効率給湯、高効率空調、高断熱外皮、高断熱窓、日射遮蔽、涼風、夏期、冬期

…補助対象

情報提供: 環境省・環境共創イニシアチブ(SII)

二級建築士試験「学科の試験」合格者を発表 合格率37.7%



公益財団法人建築技術教育普及センターは8月21日、2018年二級建築士試験「学科の試験」の合格者を発表した。

同試験は今年7月1日に全国60会場で実施し、1万9557人が受験。合格者数は7366人、合格率は37.7%だった。

合格者の内訳は、男性が69.3%、女性が30.7%。年齢別では、24才以下が55.1%、25~29才が15.0%、30才代が18.1%、40才代が9.4%、50才代が2.4%。平均年齢は27.6才だった。

職域別では、建設会社・工務店・大工が39.7%、学生・研究生が18.8%、建築士事務所が13.3%、プレハブ住宅会社が10.8%、その他(不動産業・官公庁等)が17.4%だった。

情報提供: 新建ハウジング

住宅の断熱性能に応じて自動で運転切り替えるエアコン

三菱電機は8月21日、AI(人工知能)技術によって温度と湿度の変化を予測し、運転モードや気流を自動で切り替えるルームエアコンを発表した。11月1日から順次発売する。

高精度な赤外線センサーが、床や壁からの輻射熱や窓からの日射熱などを検知・分析し温度と湿度の変化を予測、自動で運転モードなどを切り替える。具体的には、外気温と運転状況に応じた室内の温度変化の状況をAIが分析し、住宅の断熱性能など住宅ごとの特性を自動で把握し、運転の最適化を図る。個人の好みも学習して快適な室内環境を実現してくという。

FXシリーズとZシリーズで計18機種。実売想定価格は、FZシリーズが定格冷房能力4.0kWの製品で32万8000円前後、Zシリーズが同2.2kWの製品で21万8000円前後(ともに税別)。



情報提供: 新建ハウジング